

分野	現状や問題点等	具体的意見等(検討委員会、市民アンケート、庁内ワーキング)	再整備の方向性	
あやめ	あやめの丈が短い 花がまばらなところがある 希少な長井古種がある(長井市指定天然記念物) 長井古種は江戸系の古花より原種に近い 名札がついているのは良い あやめの種類や歴史などの情報が少ない あやめだけでは満足できない 500種100万本を維持している 明治時代から続く歴史ある公園 昭和5年には県の名所の部で第1位になった	・花がすばらしくなければ、畑が良くなければ、すばらしい公園にはならない。 ・あやめの植え方に工夫が必要　・一面のあやめを楽しめるように　・インスタ映えする景色は重要 ・「二列千鳥植え」は大変見栄えが良い	あやめで感動を与える (見せ方、植え方、品種、育成研究の工夫)	⇒再整備基本方針1-①へ
		・カーブや高低差を工夫し探検気分で回れるルートだったらまた来たくなるのでは。 ・大人から子供まで楽しめるデザイン変化があることで来訪者の方にも楽しめる公園へ ・あやめの観光には非日常性を持たせる、見せ方の工夫 ・遠くから見学にくる方々を満足させ「来てよかった」と言ってもらえる公園		
		・あやめの品種を選別・検討する時期と思う　・古種を守り、見栄えも大事に ・あやめの知識を学べるような工夫が必要　・古種と改良種の説明看板は必要	古種の保存、品種の検討 あやめの知識、長井古種の価値を学べる場の提供	⇒再整備基本方針1-②へ ⇒再整備基本方針2-①へ
		・「あやめのふる里」というイメージ戦略を ・昼と夜の魅力、幻想的な雰囲気を　・他のあやめ公園との差別化が重要	「あやめのふる里」の定着(学術的な植物園ゾーンの検討) 他のあやめ公園との差別化を図る	⇒再整備基本方針2-②、③へ
		・あやめの花だけでは寂しい気がする。他にも花があっても良いのでは。 ・空いているスペースに、同じ頃咲く花などを植える。あやめだけでは見ていてつまらない	あやめ以外の花を植える	⇒再整備基本方針1-③へ
園全体	あやめ時期以外が寂しい、怖いイメージ 木が茂りすぎて長井線からあやめが見渡せない 湧き水は良いが、全体としては水が足りていない 池にコイが泳いでいる	・水をきれいにして楽しめる公園に　・水の公園として通年利用を　・通年利用の公園が良い ・子供が水に入れる場所があり一年中遊べる公園に　・水を飲める場所が欲しい ・水とあやめを活かして　・花と水を大切にする公園、地元の人間が楽しくなければ外部に勧められない ・水を大事に。縁結び橋と水車、湧水をもっと魅力的に。　・折角、湧水もあるのもっと利用できたら良い。	【水】親水スペース、水の流れを確保する 水を感じられる公園づくり	⇒再整備基本方針3-①へ
		・電車からあやめ公園が見えるように木の伐採必要 ・場所によって木々が鬱蒼としているので、樹木の選定を定期的にする	【樹木】樹木の適切な管理により暗さの解消を図る	⇒再整備基本方針3-②へ
		・和風の公園が良い、松などシンボルツリーを魅せる工夫　・日本庭園のような装いがよい ・南口のアジサイを活かして ・もっと市民が行ってみたいと思う公園作り　・あやめ時期だけでなく春夏秋冬いつでも行ってみたい公園に	【美】松と芝を効果的に活かす 和風庭園、凜とした佇まいに	⇒再整備基本方針3-③へ
施設、設備	建物は老朽化が顕著 園路、あやめ会館が古臭い あやめ会館の中が汚くて、乱雑 くつろげる場所が少ない 高台に遊具があるが少ない トイレが少ない ぼんぼりが古臭い 北口の苗置き場や物置が雑然としている 園路が狭い バリアフリーになっていない 木橋の老朽化 入口が3つあり便利だが管理が大変	・あやめ会館は改修、建て替えの検討を　・食事利用と売店機能の集約 ・あやめ会館の老朽化で「入ってみたい」と思う建物ではない。 ・あやめ公園は全国一ともいえるが時代の変化に対応できていない	【楽しむ】あやめ会館の建て替え(通年利用・おもてなし)	⇒再整備基本方針4-①へ
		・あやめ園を高台より眺め鑑賞できる様にする。　・公園内に電柱があるのはどうか ・滝山へ西からの橋を架けてベンチを設置　・水上ステージ裏を展望デッキに ・高所作業車からの眺めは素晴らしい。見晴台、上からの視点必要。	【見る】高所からの展望の確保、写真映えを意識する	⇒再整備基本方針4-②へ ⇒再整備基本方針5-②へ
		・東口から北口への動線、回遊性が必要　・大型バスなどに対応した動線の検討が必要 ・物産館とあやめ会館の一体活用を　・高台公園が分離されていて活用されていない　・水上ステージが離れている ・メインゲート(北口)を利便性良く　・通路は舗装にすべき　・園路は広くしバリアフリーに	【移動】動線とメインゲートの検討、ゾーニングの検討 園路のバリアフリー化推進	⇒再整備基本方針4-③、④へ
		・来園が集中した時、今のトイレの状態だと、とても混み合って不便	【トイレ】トイレの適切な配置、バリアフリー化推進	⇒再整備基本方針4-④へ
		・子供が遊べるスペースが欲しい。　・子供が一年中遊べる公園に ・あやめ公園は地元の人も行かない人が多く魅力がない。特に子どもが行きたい公園	【遊ぶ】子供が楽しめる要素・スペースの整備	⇒再整備基本方針4-⑤へ
		・くつろげる場所が少ない　・東屋や休み場必要　・雨をしのぐ場所や日陰、椅子などがもっとあればいい。 ・「癒し」として滝の音が聞こえ涼をとれる場所が必要　・お茶接待場所の改造　・レンタル傘を置いてほしい	【休む】休み処の増設、ベンチの増設	⇒再整備基本方針4-⑥へ
看板	トイレが分かりにくい あやめ公園100年の歴史が伝わっていない あやめ公園からあやめ公園駅が分かりにくい	・フォトスポットの周知が足りない　・看板、ガイドなどあっても良いと思う。	園内を楽しめる表示の工夫	⇒再整備基本方針4-⑦へ
		・園路が複雑で、誘導サインが不足しているため鑑賞ルートが明確でない ・あやめの開花が一定ではないので順路を決めるのは良くない。		
管理	公園管理員の高齢化	・市民の関心が薄いのが問題。管理に関わってもらえたら　・花がら摘みへの市民参加を ・管理できる人材の育成・確保が必要　・一番の課題は除草　・管理作業も観光資源のひとつにする	管理体制・協力体制の検討	⇒再整備基本方針4-⑧へ
まつり・ソフト	入園者数の減少 まつり期間中は有料化になる まつり期間中は物産館、あやめ会館が営業 あやめまつりの集客力が低下 まつりがマンネリ化している 露天商・出店が少なくなった あやめ会館の食事が魅力不足 市民の関心が薄い	・おいしいものが食べられるように ・あやめ会館はせっかく行ってもそこで食事をしたくなるようなメニューもなくて残念だ ・観光はおいしい、楽しい、美しい。　・観光客は素晴らしい花と買い物。市民は賑わいを見に来る	飲食スペースとみやげ処の検討(シーズン以外も利用)	⇒再整備基本方針5-①へ
		・写真スポットは重要　・観光客はSNSで写真、情報を拡散してくれる。効果的に利用できないか ・あやめの見ごろをすぐ知らせる工夫を ・PRもこれでもかという位やって欲しい。(隣県にむけて旅行案内や新聞で大きく掲載)	写真の撮りやすい設計(集合写真や花に囲まれた写真) PRの工夫、発信力の強化	⇒再整備基本方針5-②、③へ
		・子どもから大人まで楽しめる様な私たちが子供のころに行った時のようなお祭り騒ぎがしたい。 ・特に若者、女性などがワクワクするような企画を希望する ・小さい子供が楽しめるイベントの開催。・子供の発表の場を。 ・リピーターを増やす取り組みを　・長井踊りも黒べこまつりも別会場になった。集約できないか	あやめまつりとイベントの工夫・見直し	⇒再整備基本方針5-④へ